

利用者のニーズに応える新しいコンビニ

c 1 2 4 0 9 3 1 佐藤董哉

私が利用者のニーズに応える新しいコンビニについて考えたことがあります。

1つ目は、その地域の特産品などを置くということです。理由は、コンビニは誰でも気軽に寄れるという点がいいところだと思います。旅行している際に少し休憩したくなった時、コンビニによると思いません。その際にその地域の特産品を置くことで旅行者はその特産品をることができます。その特産品を知り「もう一度食べたい！」とネットを使いもう一度購入してくれるかもしれません。そして、次の旅行はそこに行こうとなる可能性もあると思います。このことからコンビニに特産品を置くと気軽に地域の特産品が知れて、特産品を知ってもらえることに繋がると思います。

2つ目は、賞味期限切れが近い商品を割引して売るということです。コンビニの悪いイメージをあげると値段が高いというイメージがあります。一度買い物すると毎回1000円を超えてきてしまいます。あと今の時代はSDGSに力をいれています。そのSDGSで問題になっているのは食料廃棄です。食品を捨ててしまうと温室効果ガスが発生し地球温暖化が進んでしまいます。その問題を解決するためにも食料廃棄をなくすことが大切です。なのでコンビニの賞味期限切れの近い商品を割引することで値段が高いという問題と食料廃棄の問題の二つを一気に解決できると考えました。

3つ目は、イートインスペースを全コンビニに付けてほしいということです。

コンビニにイートインスペースがあるところはあるのですが全てのコンビニにはありません。自分は野球をしているのですが昼休憩の際コンビニで済ませたい時があるのですが、イートインスペースがないと昼食が取りにくく感じたことがあります。これを解決することができるのがイートインスペースです。なのですべてのコンビニでイートインスペー

スを作ることにより、より気軽にコンビニを利用できることにつながるとわたしは考えました。

4つ目は、スーパーや郵便局などの建物と合同で経営するということです。わたしの地元である、山形県上山市の近くには周りにスーパーなどが多く高齢の方などが、食材を求めてコンビニへ来るようなところがあります。生活用品などを揃えるにはコンビニでは、不十分であると考えたため、コンビニとスーパーや郵便局などが一緒になることで高齢者や体の不自由な方の生活が少しでも楽になるとを考えた。

のことからコンビニが少しでも利用しやすくなれば、地域の方々の生活が良くなり、地域の活性化に繋がると思いました。